

ふくい街角景気速報

(令和7年1月分)

調査期間 令和7年1月21日～28日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは40.3となり、前月と比べ6.1ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは43.9となり、前月と比べ0.1ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 40.3 (前月比 ▲6.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ 10.2 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.8 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

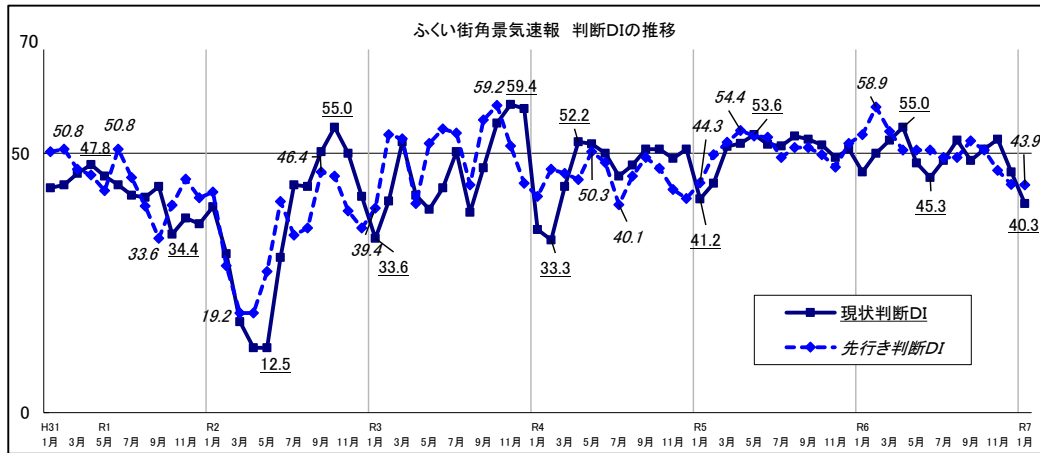
- 年末はインフルエンザの為、会食などが少なかったようである。年始の集まりは少し戻ってきているが、食品の高騰を受け、消費が思うように伸びていないように思う。(商店街)
- 良くなっている部分もあるが、為替の影響、原材料の高騰等が続いている。(繊維関連)
- 野菜価格高騰、ガソリン補助金終了で、普段の買い物での節約志向が強まっている。(スーパー)

■景気の先行き判断DI 43.9 (前月比 ▲0.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ 2.3 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 3.6 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

- 観光業界的には、4月からの春シーズンは良くも悪くもないという状況が続くと思う。大阪万博の影響がどのように出るのか読めないところがある。(観光関係)
- ビジネスの季節性で、例年1月以降は受注・売上が低下する傾向にあること、及び、米国の大統領選の結果を受け、世界情勢や景気動向に不透明感が強まることを懸念している。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 8	9	10	11	12	R7 1	(前月差)
合計		52.5	48.6	50.8	52.7	46.4	40.3	▲6.1
家計動向関連		52.3	46.9	50.6	52.2	46.1	35.9	▲10.2
小売		47.2	46.8	47.3	47.5	43.1	39.2	▲3.9
飲食		60.0	41.7	55.0	60.0	50.0	35.0	▲15.0
サービス		60.4	50.0	56.8	62.5	52.3	27.3	▲25.0
企業動向関連		52.9	50.8	51.5	52.2	45.6	43.8	▲1.8
製造業		51.0	51.1	51.0	52.0	46.9	43.5	▲3.4
非製造業		57.5	50.0	52.8	52.8	42.5	44.4	+1.9
雇用関連		52.1	50.0	50.0	56.3	50.0	47.9	▲2.1

○回答別構成比

	年 月	R6 8	9	10	11	12	R7 1	(前月差)
良くなっている		3.3%	3.3%	4.4%	4.4%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		23.3%	14.1%	17.8%	24.2%	15.4%	5.6%	▲9.8
変わらない		53.3%	58.7%	54.4%	50.5%	54.9%	53.3%	▲1.6
やや悪くなっている		20.0%	21.7%	23.3%	19.8%	25.3%	33.3%	+8.0
悪くなっている		0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	3.3%	6.7%	+3.4

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 8	9	10	11	12	R7 1	(前月差)
合計		49.2	52.4	50.6	46.7	44.0	43.9	▲0.1
家計動向関連		47.2	54.2	50.6	46.7	42.8	45.1	+2.3
小売		46.3	53.2	50.0	49.2	43.1	44.2	+1.1
飲食		40.0	41.7	55.0	35.0	35.0	45.0	+10.0
サービス		52.1	63.6	50.0	45.0	45.5	47.7	+2.2
企業動向関連		50.7	50.8	50.0	44.9	43.4	39.8	▲3.6
製造業		50.0	50.0	50.0	44.0	41.7	39.1	▲2.6
非製造業		52.5	52.8	50.0	47.2	47.5	41.7	▲5.8
雇用関連		52.1	50.0	52.1	52.1	50.0	50.0	+0.0

○回答別構成比

	年 月	R6 8	9	10	11	12	R7 1	(前月差)
良くなる		1.1%	3.3%	4.4%	1.1%	1.1%	2.2%	+1.1
やや良くなる		20.0%	23.9%	17.8%	16.5%	13.2%	8.9%	▲4.3
変わらない		54.4%	54.3%	54.4%	54.9%	51.6%	56.7%	+5.1
やや悪くなる		23.3%	16.3%	22.2%	23.1%	28.6%	26.7%	▲1.9
悪くなる		1.1%	2.2%	1.1%	4.4%	5.5%	5.6%	+0.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	飲食関連	団体等での来店も増えてきた。新幹線で県外などからも人が来るようになったと思う。
	企業動向	福井	建設・不動産関連	顧客からの問い合わせ等が増加。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	年始の人通りは多かったが、天候が良かったためと推測される。今(1月下旬)は落ち着いている様子。冬季の入出は天候に大きく左右される。
		嶺南	商店街	年末はインフルエンザの為、会食などが少なかったようである。年始の集まりは少し戻ってきているが、食品の高騰を受け、消費が思うように伸びていないように思う。
		福井	百貨店、SC等	消費の2極化は顕著に表面化し、高額消費の加速と、物価高騰による余剰消費の減速は継続的に進む。年末・年始において「福袋」等の縁起物、お買得商品には動きがあったが、防寒商品は温暖影響で動きが鈍い。
		嶺南	百貨店、SC等	大きく情勢が変わる要素がない。
		坂井	観光物産関係	年始の商品の動きも良くなく、そのまま来ている。
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなっている部分もあるが、為替の影響、原材料の高騰等が続いている。
		福井	一般機械関連	設備投資動向は停滞したままで、商談・受注状況は変わらない。
		丹南	電気機械関連	3か月前と比較して、受注・売上に大きな変化はないため。
		福井	化学・プラスチック関連	受注量が増えない。
		福井	化学・プラスチック関連	建設業界の慢性的な工事遅延、人手不足が続いている。
		福井	銀行等金融関連	小規模事業者の多くが原材料などの上昇分を価格に十分転嫁できていない傾向にあり、企業をとりまく環境は未だ厳しい状況。一方で観光業・小売業においては、冬場のシーズンを迎え、観光需要の回復が見られる。
	雇用	嶺南	労働相談員	相談件数や内容などに大きな変化がないことから、景気は変わらないと判断する。
		福井	学校就職担当者	企業の求人活度が落ち着いているため。
		嶺南	就職情報誌	北陸新幹線開業1周年を迎えるために活気はあるが、コロナ、インフルエンザ感染により人の動きが鈍くなってきている感じがする。
	④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店
坂井			スーパー	野菜価格高騰、ガソリン補助金終了で、普段の買い物での節約志向が強まっている。
福井			コンビニエンスストア	米をはじめとした食料原価の高騰が利益を圧迫している。
坂井			観光関係	北陸地方が大雪になるという報道によるキャンセル。インフルエンザやコロナの流行による旅行控えなどの影響。
嶺南			観光関係	10月の秋の行楽シーズンに比べれば、少しの落ち込みは見られる。
企業動向		丹南	電気機械関連	弊社では為替変動の影響を受けやすい。また、新アメリカ大統領の就任により将来的な予測が困難となり、慎重な雰囲気がかかっている。
		嶺南	食品製造関連	様々な仕入価格の値上がりのため。
		丹南	建設・不動産関連	閑散期に入り、例年通りの動向である。
雇用		丹南	労働相談員	相談内容が賃金、休日に関する事が非常に多い。
⑤悪くなっている	家計動向	福井	飲食関連	デスティネーションキャンペーンも終わり、県外からのお客さんが減っている。県民の消費も落ちている。
		福井	観光関係	冬季に入り、人流が明らかに減少している。イベント等には人が集まるが、近辺への周遊がなく、飲食店舗も寂しい状況である。物価上昇が顕著となり消費者心理として遊行費などの抑制に繋がっていると思われる。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	新幹線開業1周年、桜の時期があるので盛り上がると思う。
		嶺南	商店街	春が近づき、観光客の消費意欲は冬季よりも上がると予想。北陸新幹線開業1周年もあり、天候次第では人出も多くなると感じる。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	観光業・小売業については、新幹線の開業効果が継続していくものと思われる。製造業や建設業等のコスト上昇と、価格転嫁の動向や人出不足の影響などについては引き続き注視が必要。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	新生活・入学モチベーションは底堅いものの、客単価ダウンの影響は引き続き継続する。
		福井	百貨店、SC等	新トランプ政権の影響で金利が上がることや関税の引き締めなど、まだまだ景気が上向きになるような要因が見当たらない。
		嶺南	百貨店、SC等	大きく情勢が変わる要素がない。
		奥越	百貨店、SC等	今の所、あまり悪い要素も見当たらないので、変わらないように思われる。
		福井	コンビニエンスストア	好転材料が見当たらない。
		奥越	飲食関連	天候次第だとは思いますが、特に良くなるとは思えない。
		嶺南	観光関係	観光業界的には、4月からの春シーズンは良くも悪くもないという状況が続くと思う。大阪万博の影響がどのように出るのか読めないところがある。
	企業動向	坂井	繊維関連	先行きが不透明のため、現状の状況は続くと思われる。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少が暫く続く見通し。
		福井	化学・プラスチック関連	状況に変化の兆しが見えない。
		丹南	建設・不動産関連	これから春物件の見積もり、受注が始まるので、上向きに変わるまではもう少しかかる。
	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談の件数や内容が、今後大きく変化していくことの判断材料がないため、変わらないと判断する。
		福井	学校就職担当者	企業の求人活動が落ち着いている。
		嶺南	学校就職担当者	求人は変わらずあり、企業が若い人材を欲しがっている。
	④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店
坂井			スーパー	今後も食品などの値上げの話もあり、節約志向は続くと思われる。
福井			サービス業関連	物価高により、購買意欲が低下するものと思われる。
福井			観光関係	物価高により、消費意欲が抑えられているから。
企業動向		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性で、例年1月以降は受注・売上が低下する傾向にあること、及び、米国の大統領選の結果を受け、世界情勢や景気動向に不透明感が強まることを懸念している。
		福井	商社	石油製品が値上がりして、購入控えが多く発生する。
		福井	銀行等金融関連	日銀の利上げがあったら、住宅ローン等の金利も上がるため。
雇用		丹南	労働相談員	全国的に物価高騰の中、中小企業はそれに見合う賃上げが実施されていないように思う。
⑤悪くなっている	家計動向	嶺南	スーパー	原油高騰による、更なる原価上げの影響。
	企業動向	丹南	鉄鋼関連	米国でトランプ大統領就任による懸念点がある。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)